

大阪府保育士会だより

平成15年12月1日

第65号

ほほえみ

大阪府社会福祉協議会
保育部会・保育士会
大阪市中央区中寺1-1-54
TEL 06-6762-9001

より良い保育めざし

大阪会場に全国から約500人

専門性高める 研修会

全国の保育士を対象に「保育士の専門性を高める研修会」が8月26、27日に東京と大阪で行われました。新しく保育士養成課程に導入された「家族援助論」「社会福祉援助技術」を学ぶこの研修に、大阪南海サウスタワーホテルには全国から472人が集い、国家資格化に伴う専門性への意欲が感じられる研修会となりました。

武内全国保育士会会長から「今、保育園や地域の子どもたちのために何ができるか、どんなことを提供できるか」という引き出しを持つことがこれから大切ではないか」とのあいさつに続き、島村全社協児童福祉部長から「地域の問題を含め、専門職としてどのように活躍するか、自分たちの今までの仕事をさらに発展させる方向性の中で、新しい知

識や技術を得るよい機会」というあいさつがありました。

講義Ⅰ

これからの保育士に求められる専門性と倫理―保育士の国家資格化で求められるもの―

(講師) 小田原女子短期大学

増田まゆみ教授

講義Ⅱ

現在の家庭をとりまく状況の変化とその支援について―家族援助論―

(講師) 武庫川女子大学

倉石哲也助教授

講義Ⅲ

保育所における相談、援助、支援のさまざまな技術

について

(講師) 日本社会事業大学

金子恵美助教授

『役割』の講義に感銘 実技も楽しんで保育士研修会

保育士研修会が9月2日に社会福祉指導センター

で行われました。関西学院

大学社会学部助教授で

社会福祉士の前橋信和先

生が、

「子どもの問題と保育所の

役割」というテーマで講演

をされました。

「現代は核家族化が進み、

育児が伝承されにくいため

母親が育児の情報を得られ

ず、不適切な育児や虐待の

問題が生じるようになりま

した。

助、支援のさまざまな技術

について

(講師) 日本社会事業大学

金子恵美助教授

2日目は演習。グループ

ワーク、事例の検討を行

いました。

保育所における相談、援

助、支援の実践について

―家族援助論、社会福祉援助

技術(演習、ケース検討)―

(講師) 金子恵美助教授

2日間5単位の履修者に

は「受講認定書」が武内会

長から手渡されました。

竹城台東保育園 谷口明子



保育の専門家として、保護者・地域から、より信頼されるよう日々努力する気持ちで新たな講義でした。

次に、保育実技研修として、泉州プロックから、台所用品を使った人形劇、「なくなよ、しゃもじくん」

(写真右)、北大阪プロックの和太鼓と沖縄民謡のエイサーをとり入れた劇、「こぶとりじいさん」(写真左)の発表があり、楽しい研修でした。

四條畷すみれ保育園

大坪 円

あふれた『決意の祭典』

格化記念事業

知事を先頭に来賓の入場

子どもたちの笑顔・元気な大阪



晴天に恵まれた10月28日(火)、門真市のなみはやドームで、大阪府保育士会主催の保育士国家資格化記念事業「子どもたちの笑顔・元気な大阪」が私たちが、子どもの育ちを支えますが開催されました。

当日は、大阪府下一円から子どもたち、保育士、保護者を合わせ、約3000人が、なみはやドームに顔を合わせました(10月29日付、産経新聞朝刊に掲載されました)。

会場内は、子どもたちの手描きによる色とりどりのペナントが周囲にかざられ、参加者全員の喜びの時を盛り上げてくれました。

まず、武内茂子全国保育士会・大阪府保育士会会長(写真上)から「いつまでもみんなが力を合わせ未来に向かって、素晴らしい日本、素晴らしい大阪になるように、大きな夢を持って一緒に頑張らしましょう」と主催者あいさつがあり、続いて、

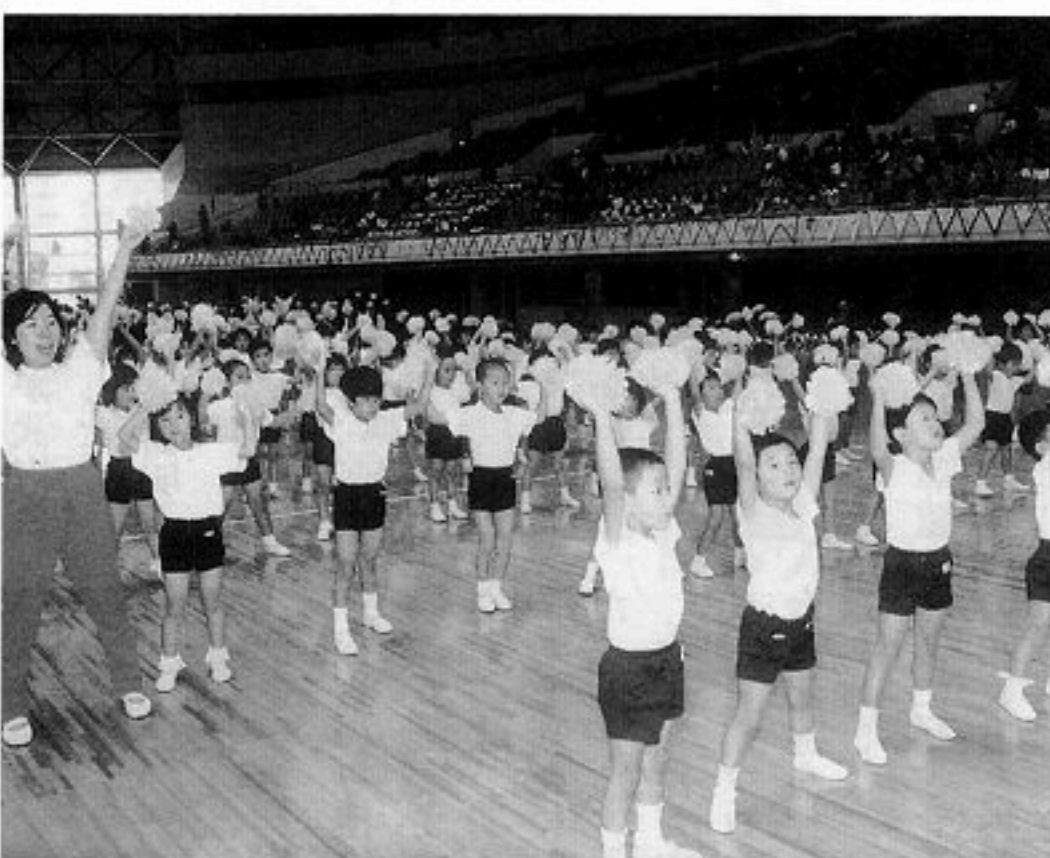


の四色のポンポンを持ち、会場全体をかわいらしい花畑に変え「公園にいきましょう」の曲に合わせて始まりました。



会場に咲く華麗な花畑

子どもたちの演技のスタートを飾るポンポンは、23か園672人の子どもたちが、手に赤・青・黄・ピンク



子どもたちはリハーサルきただけあり、保育士もなく、初めて大きな会場で緒に楽しそうに踊っての演技でしたが、各園でした。観客席や待機してこの日に備えて取り組んでる園児からも手拍子が

り、ムに段とこときたです。子どもをのちのポに、て、く投終了した。

夢と共にふくらんだパラバルーン

22か園657人の園「森のくまさん」の曲わせて、会場内に一斉のカラフルなパラバルの花が咲きました。風れる花を表現するよう技に、子どもたちの笑加わり、微笑ましいもなりました。

大きくふくらんだパルーンに大きな拍手がその拍手を受けた子どもの顔は、自信に満ち

なみけ 熱気



一 保育士国家資

大日原江太郎先生から、「子どもたちには、社会の宝。その子どもたちの輝かしい目をそのままずつと持ち続けるために、保育園・家庭・地域が手を携えてほしい。保育士に対する期待と責任がますます膨らんでいる今、今後も地域の中の保育園としてがんばってほしい」と激励の言葉をいただきました。

最後に、高岡國士大阪府社協保育部会長から、「子どもたちの置かれている環境、保育園の置かれている状況も厳しいのですが、みんなで力を合わせて難局を乗り切っていきたいと思えます。今日のこの会が、素晴らしい思い出の会となりますように」と結ばれました。

その後、参加した保育士による組み体操、専門職としてのあるべき姿を示す全国保育士会の倫理綱領の唱和、そして子どもたちの元気いっぱい演技がくりひろげられました。

体当たり演技に歓声



軽やかな側転が始まった保育士による組体操(写真)。会場は一瞬、拍手と歓声に包まれました。37か園、80人の



習に励みました。

練習といっても、各園での練習となり、大会前日初めて全員で合わせることができ、武内先生の指導に、緊張した面持ちで全員の動きが合わず、必死に走り回っていました。しかし、大会当日、子どもたちの拍手に後押しされ、会場に出てきた保育士たちの演技は子どもたちや保育士たちに自信を与える、生き生きとしたものでした。「えい、やー」とこぶしを振り上げる保育士たちの姿は、会場にいる園児、保護者に感動を与え、保育士たちには改めて、自分たちの果たす役割を考える機会を与えてくれたのではないのでしょうか。



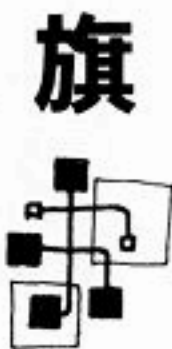
花が咲いたようなパラバルーン

私たちは子どもを育てます

きた子どもたち。旗を振るとは思えないほど会場内がのり強く、子どもたちそれぞれ顔からはたくましさを感じました。子どもたちにとっても、

ていました。パラバルーンのおくらは、子どもたちの夢そのもの。それぞれの夢が大きくふくらみ願いが叶えられるように、私たちは全力で支えていきましょう。

世界に届け みんなの願い



最後の演技、旗は20か園630人の子どもたちが参加し、「世界中の子どもたちが」の曲に合わせて始まりました。

未来を担う子どもたちが世界中の旗を振り、演技する姿に私たち大人は日本の子どもだけでなく、世界中の子どもたちが笑顔で暮らせる未来の基礎を築いていかなければいけない、という責任を痛感しました。



演技終了後、観客席と会場の園児たちと手遊びをしました。今回行事に参加することで、またひとつ成長しました。

たのしい保育活動



工夫と発想で造形活動

当園は、昭和57年4月、東大阪三ノ瀬に椎木会第二園として誕生しました。チョコレートケーキをポンと2つに割ったような、しつとりとしたレンガ造りの園舎の中は、子どもたちが描いたガラスのアートやステンドグラスで飾られています。昨年大型補修工事を行い、内装を一新し各保育室を個性的に演出しました。初めての出逢いを大切に

し、無限の可能性を引き出す、無敵の園舎から、色々な特別活動を試みています。その中の一つ「絵画造形」活動は4歳児から取り組んでいます。上手に描くだけでなく「描いたり、作ったり、遊んだり」の活動を通して「やってみようかな」と意欲を持って楽しみながら、自分なりの工夫や発想ができるような子どもに育てたいと思っています。



自由に描いていいよ

園庭いっぱい広げた大きな紙に絵具で描き、2階から見おろして「ワアすごい！」と大歓声をあげました。

また、身近な素材で工夫をこらした作品は、子どもたちの自由な発想がとてもしつとり作りオモチャとなりました。

「生き生き、キラキラ」輝きながら

活動に取り組む子どもたちの姿は、私たちのエネルギーの源です。

共に工夫し共感しながら限らない夢と可能性を育てていきたいと願っています。
恵果保育園 七野 智世

保育あんな工夫 こんな工夫

うたって書き方を覚えるよ

入学して困らないよう、せめて自分の名前ぐらいは書けるようにしてやりたい。でもいい加減なクセがついてしまうあとで直すのが大変だ。そんなことから5歳児の硬筆教室が始まりました。講師の先生の指導方針が、私たち職員の思いと一致したことが実施のきっかけでした。

三段階に分けて
I ホップII ①②の線引きで正しい姿勢と正しい鉛



うたに合わせて……

筆の持ち方を学ぶ。

しつかりした線（直線・曲線）が引けるようになれば

II ステップII（五十音のよく似た形状別分類表の順番で）字書き歌で、字の形を楽しく覚える。

先生考案の字書き歌は大変ユニークで、子どもたちは楽しく唱和しながら、字のつくりを覚えていきます。



※坂登ってカーブ中心で抜く

III ジャンプII 字のルーツに根ざした正しい文字が書けるようにがんばろう！

さあ、仕上げです。子どもたちはうれしそうに習いたての字を、マス目一杯に書き、競争です。卒園前には大人顔負けの整った文字で、自分の名前や友達の名前を書いて得意そうに見せ

てくれます。「入学前の不安のひとつが解消できます」

と保護者にも好評です。
星光保育園 望月まり子

11月28日産経新聞朝刊に、保育士の国家資格化の特集記事が掲載されました。武内会長と高岡部会長の対談のほか、専門家のコメントもあり。是非ご一読を。

全国保育士研修会が、1月19、21日、大阪国際会議場で行われます。8分科会に分かれての討議や、実践報告が主な内容です。詳細は後日郵送。



大阪府保育士会手帳「ほほえみ」の改訂作業にとりかかっています。今まで以上に保育士として必要な情報を掲載します。発行は、来年4月頃の予定です。

編集後記

今年も残すところあと一か月となりました。いろいろな事がありましたね。皆さんはどんな出来事が心に残っておられますか。保育園の内外で起こったさまざまな出来事、また、私事で素晴らしいことがあったとか……？ 私たちには、保育士国家資格化という大きな出来事があります。たね。なみは

やドームで行われた、国家資格化記念行事には、多くの皆様のご協力をいざいしました。また、「ほほえみ」に

対し多くの投稿をいただき感謝いたしております。今後もしも楽しいご意見をお待ちしております。

年の瀬を迎え大変お忙しい日々を過ごされることと思いますが、お身体を大切になさって下さい。来年もまた素晴らしい年になることを願っております。

